

『子育て支援 日本一守口市』

保健師さんってなにしているの？

【保健師】の仕事
 公衆衛生看護師として、お子さんの成長を共に見守りながら、保健・医療・福祉につながります。
 妊娠されてから、お子さんが小学校に入学されるまで、切れ目なく子育てを応援する専門職です。

問あえる(子育て世代包括支援センター)
場市役所3階(北エリア)
TEL06-6995-7833



妊娠中から乳幼児期の育児の困り事・心配事を一緒に考えます

育児は、おぎゃーとお子さんが生まれて、ひとり立ちするまで続きます。その間、特に乳幼児期の子育ては、様々な心配事や問題に突き当たります。昔のように、隣近所や地域のみんなで子育てをする環境でなくなった現代において、「だれに相談したらいいかな？」という時に、ぜひ保健師を活用してください。

育児は、1人で抱え込まないで、より良い方法を一緒に考えていきましょう。
 電話・家庭訪問・あえるでの面接でお話を聞かせてください。
 仕事で日中連絡が取りにくい人は、手紙でのやり取りも可能です。
 相談時に知りえた個人情報、守秘義務を厳守します。

昨年1年間で保健師7名が行った活動は...

電話	9,719 件
家庭訪問	1,547 件
面接	3,129 件



「体重が増えているか心配」
 「夜泣きが続いて眠れない」
 「兄弟の子育てが大変」
 「ママ友達を作りたい」
 「言葉が少ないので心配」

育児を支える教室 相談事業

プレパ・プレママ教室

妊婦さんとそのパートナーを対象として、妊娠期の過ごし方や育児物品の説明、赤ちゃんのお風呂実習、産後の制度の案内などを行っています。

新生児訪問

おおむね生後28日以内のお子さんとお母さんを対象として、保健師や助産師などが家庭訪問を実施しています。お子さんの体重測定やお母さんの育児の相談に乗っています。

ひよこ教室

2500g未満で出生したお子さんなどを対象として、生後6か月〜計4回程度、保健師や保育士、理学療法士、栄養士が教室で相談に応じます。お母さん同士の交流もしていただいています。

すこやか5歳児事業

市内園に通っているお子さんを対象として、年中児・年長児に各園を巡回して集団生活でのお子さんの様子から、小学校入学に向けての困り事の相談に応じています。対象者には各園から健診の案内を配布しています。

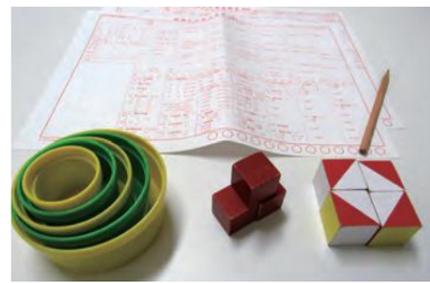
離乳食講習会

生後6カ月から始まる離乳食について、現在は講習会に代えて、パンフレットをホームページに掲載し、おかゆの作り方など離乳食のメニューを順次YouTubeで配信しています。また、予約制で栄養相談(現在は電話相談)を行っています。



発達相談

病院でも一般的に使用されている新版K式発達検査2001を用いて、心理士が発達相談を行っており、年間約900人の相談があります。「言葉がゆっくり」「落ち着かない」「就園後、お友達とうまく遊べない」など、お子さんの特性を発達の視点で捉え、家庭でのお子さんにあつた関わり方の助言のほか、保護者が希望される場合は、所属園への情報提供も行っていきます。一人で悩まずにぜひ相談してください。



必要な支援につながります

子育て支援の方法は、保護者と保健師だけの関係にとどまりません。必要に応じて、通っているこども園・幼稚園・保育所や、専門職相談員(心理士・理学療法士・作業療法士・言語療法士)、小児科医師などと連携して、より具体的で実現可能な解決策を考えていきます。

その他、市役所内の他部署や民間サービス、保健所・病院・児童発達支援事業所などの専門相談機関につながります。

母子健診後のフォロー教室を開催しています

▽乳児一般後期健診の結果、運動面や発達面などの項目で経過観察が必要な人を対象とした「1歳元気っこ教室」を開催しています。対象者には個別の案内通知を郵送しています。保健師や栄養士、保育士などの専門職が相談に応じています。

▽1歳6カ月児健診などの定期健診後の発達相談をへて、必要なお子さんには成長発達を支援するための親子教室を開催しています。対象の人には、地区担当保健師より案内しています。

